

3-4 エリア別の将来ビジョン（デザインノート）

エリア① JR伊予市駅・国鉄通り・南側商店街周辺デザインノート

【将来ビジョン】

多世代が歩いて楽しめる

『駅前玄関口エリア』

■JR伊予市駅周辺のまちなか回遊拠点の形成

- ・JR伊予市駅周辺は、伊予鉄郡中港駅に続き、JR伊予市駅前広場の再整備等の事業を進めるとともに、2駅が近接する拠点性を活かし、地域みなさん、交通関係者、町家等との協働により、交通・商業・観光等の都市機能が集約されたまちなか回遊の拠点の形成を図っていきます。
- ・JR伊予市駅前広場の再整備検討に合わせ、町家を駅側、まち側により開かれた、連携した施設へと改修する可能性を検討し、2駅周辺の滞留空間と町家の一体的な整備を検討します。（例）トイレの駅前広場への集約と広場の一体利用など）

■チャレンジショップと空き家リノベーションの連携

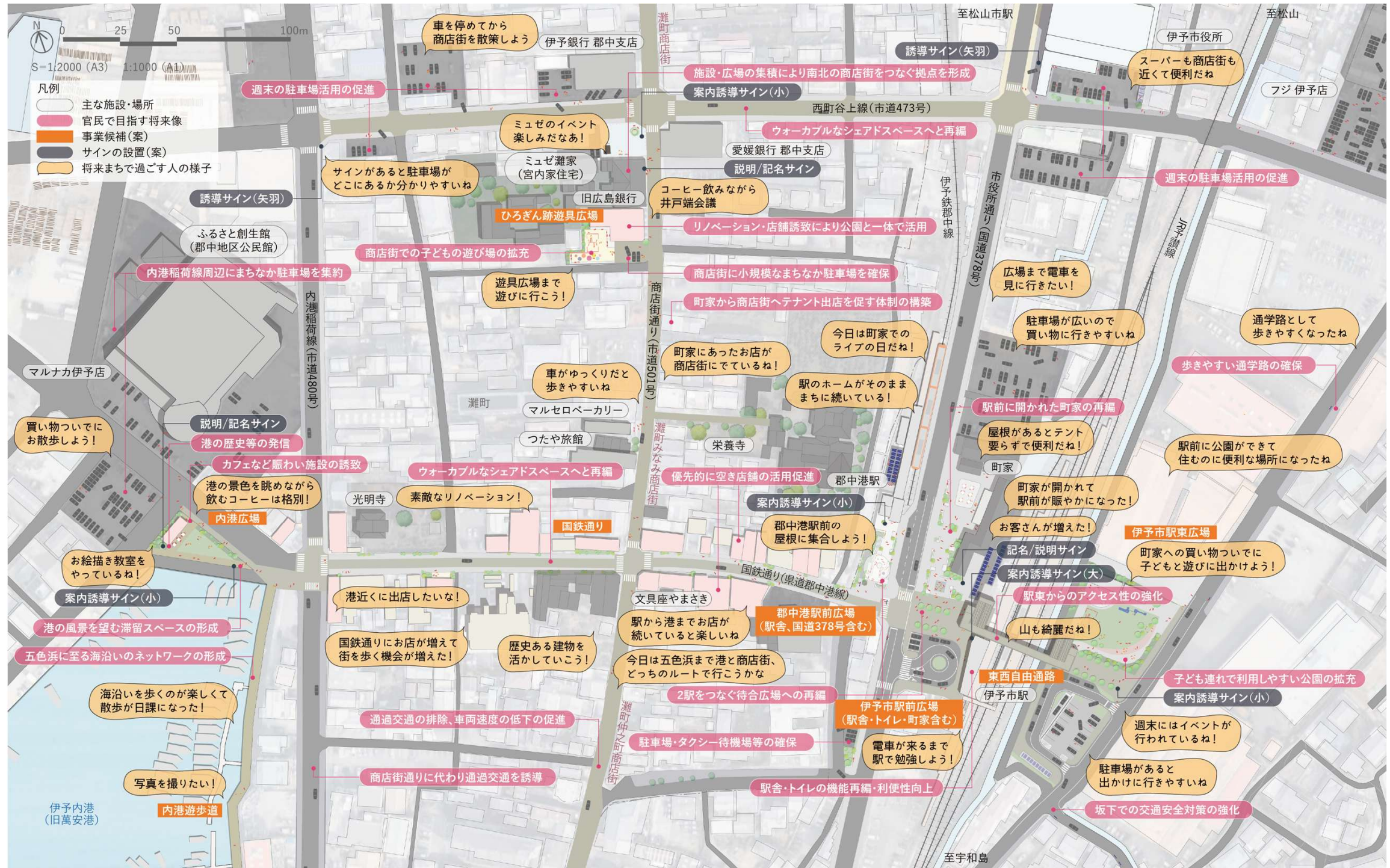
- ・町家をはじめとする現状のチャレンジショップ等の取組と、今後の商店街での空き家・空き店舗のリノベーション活用との連携により、出店希望者がチャレンジショップを経て、まちなかに出店・展開していく仕組みの確立と、エリア内に散策の目的となる店舗の出店支援をおこない、歩いて楽しいウォカブルなまちづくりを進めます。
- ・空き家・空き店舗の所有者と、利用を望む出店希望者とのマッチング体制の構築、住居・商業の機能を分離し店舗として活用しやすい建物への改修支援などを進め、活用を推進します。
- ・旧広島銀行跡地など、商店街内の市有地や低未利用地を活用し、子ども・親子で楽しめる公園・広場を拡充するなど、多世代で訪れやすい商店街に向けた検討、社会実験などを検討します。

■駅・商店街と五色浜をつなぐ内港の回遊拠点の形成

- ・まちなかと五色浜をつなぐ位置にある伊予内港を、内港の景観を活かした、商業・滞留機能をもったまちなか回遊拠点に位置付け、公民連携での再整備を検討します。

■国鉄通りの再整備によるウォカブルな空間形成

- ・2駅と商店街通り、内港を結ぶ国鉄通り（県道郡中港線）について、まちなか回遊の軸と位置づけ、沿道みなさんと協議しながら、シェアスペースなど、歩行者が通行・滞留しやすいウォカブルな街路への再整備を検討します。
- ・必要な位置に回遊を促すサイン設置を検討します。



JR伊予市駅周辺の回遊拠点でのアクティビティのイメージ



内港の回遊拠点でのアクティビティイメージ



画像出典：デザイン情報サイト「JDN」
ウォカブルな空間のイメージ（福山市）